



平成 20 年 11 月 7 日

〈プレス・リリース〉

各 位

会 社 名 トナミホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 綿貫 勝介
 (コード番号 9070 東証・大証 第1部)
 お問合せ先 取締役経営企画室長 渡辺 義信
 (TEL 0766 - 32 - 1850)

平成 21 年 3 月期 (第 2 四半期・通期) 業績予想に関するお知らせ

当社は、10 月 1 日付けで、分社型吸収分割による純粋持株会社体制へ移行完了し、平成 21 年 3 月期の「連結・第 2 四半期・通期業績予想(平成 20 年 8 月 8 日に公表)」ならびに「個別・第 2 四半期・通期業績予想(平成 20 年 5 月 15 日に公表)」につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 第 2 四半期業績 (平成 20 年 4 月～平成 20 年 9 月 30 日)

(1)連結業績予想数値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ①	百万円 65,100	百万円 1,000	百万円 1,300	百万円 640	円 銭 7 04
今回修正予想 ②	65,300	640	800	140	1 54
増 減 額 (②-①)	200	△360	△500	△500	-
増 減 率 (%)	0.3	△36.0	△38.5	△78.1	-
前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	63,127	789	1,151	△1,516	△16 68

(2)個別業績予想数値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
※ ¹ 前回発表予想 ①	百万円 48,400	百万円 200	百万円 600	百万円 250	円 銭 2 75
今回修正予想 ②	47,950	10	500	20	0 22
増 減 額 (②-①)	△450	△190	△100	△230	-
増 減 率 (%)	△0.9	△95.0	△16.7	△92.0	-
前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	48,001	76	527	△1,864	△20 51

※¹平成 20 年 5 月 15 日公表(会社分割前・トナミ運輸株式会社の業績予想数値)

2. 通期業績 (平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月 31 日)

(1)連結業績予想数値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ①	百万円 133,600	百万円 2,200	百万円 2,700	百万円 1,360	円 銭 14 97
今回修正予想 ②	133,600	1,770	2,250	850	9 36
増 減 額 (②-①)	0	△430	△450	△510	-
増 減 率 (%)	0.0	△19.5	△16.7	△62.5	-
前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	130,188	1,887	2,431	△911	△10 03

(2)個別業績予想数値の修正

今回の通期業績予想数値については、会社分割前の上半期の業績見通しおよび、純粋持株会社「トナミホールディングス株式会社」の下半期の業績見通しを踏まえて業績予想を行っております。

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
※ ² 前回発表予想 ④	百万円 98,700	百万円 800	百万円 1,400	百万円 600	円 銭 6 60
※ ³ 今回修正予想 ⑤	48,500	170	620	140	1 54
増 減 額 (⑤-④)	△50,200	△630	△780	△460	-
増 減 率 (%)	△50.9	△78.8	△55.7	△76.7	-
前期(平成20年3月期)実績	97,691	601	1,273	△1,589	△17 49

※³今回修正予想数値は、会社分割前の業績予想数値※²(平成20年5月15日公表)との比較をしておりますので、増減変動をしております。

3. 修正の理由

(1)第2四半期

①連結業績予想

- 上半期は、原油価格高騰・金融不安等による景気の減速局面もありましたが、グループ企業の拡大効果もあり、営業収益は計画を確保できる見込です。
- 利益面においては、あらゆるコストダウンに取り組みましたが、期初から夏にかけてトラック燃料価格が想定を上回る高水準で推移し、経費負担の著しい増大などにより「営業利益・経常利益・当期純利益」とも計画を下回る見込です。

②個別業績予想

- 主力の特積み事業における業者間の競争も依然として厳しく、建築住宅・素材関連荷動きの予想外の回復遅れなどによる輸送需要の伸び悩みもあり、貨物輸送量は計画を下回り、営業収益は計画を下回る見込です。
- 利益面においては、連結業績と同様の理由により、「営業利益・経常利益・当期純利益」とも計画を下回る見込です。

(2)通期

①連結業績予想

- 下半期は、主力の特積み事業において、建築住宅・素材関連荷動き低迷による下振れ幅が上半期に比べて抑制されると見られ、また、新規事業による収益拡大効果も本格的に寄与すると見込まれ、「営業収益」は通期計画を確保する見込です。
- 利益面では、グループ企業におけるコスト削減や効率化を強化促進するとともに、下半期における新規事業による収益性向上や、トラック燃料価格の低下傾向も期待されるものの、運送委託料・備車料などのコスト増加要因もあり、上半期の減益を吸収することが厳しいと想定され、「営業利益・経常利益・当期純利益」は通期計画を下回る見込です。

②個別業績予想

- 当社は、平成20年10月1日をもって会社分割を実施し、本件分割によって、トナミ運輸株式会社へ事業承継を行い、当期下期より、純粋持株会社としての業績数値を計上することとなるため、個別・通期業績予想数値を修正いたしました。

上記業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断し作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上